



SG20 副議長 (新任)

日本電気株式会社

やまだ とおる
山田 徹

〈プロフィール〉

専門領域：IoT・スマートシティ領域の標準化

- 1995年 横浜国立大学 工学部 電子情報工学科 卒業
- 1997年 同大大学院 工学研究科 電子情報工学専攻 博士課程前期修了
- 1997年 日本電気株式会社 (NEC) 入社
- 2013年 首都大学東京 (現東京都立大学) 大学院 システムデザイン研究科 博士課程後期 修了
- 2015年 ITU-T SG20発足より参画
- 2017年 APT ASTAP EG IOT議長に就任 (現在に至る)
- 2022年 ITU-T SG20副議長就任 (現在に至る)

—— 先のWTSA-20での選出そしてご就任おめでとうございます。今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちをお聞かせください。

山田 ありがとうございます。2019年に前任の方を引き継ぐ形で暫定的に副議長を担当していました。今回、WTSA-20にて正式に副議長に任命されました。仮免許から正式な免許に切り替わったような気持ちでいます。気を引き締めて頑張りたいと思います。

—— ご担当事項 (ご専門領域) とご経歴、ITU (SG) との係わり (年数など)、その他の標準化機関での活動などを教えてください。

山田 2015年のITU-T SG20発足当初から参加しております。弊社事業と関連するIoTアプリケーションの勧告作成やスマートシティユースケース集作成を提案し、エディタを担当してきました。その他の機関では、APT ASTAPにおいてIoT分野の専門家グループの議長を担当しています。また、若い頃は映像関連技術の研究開発をしており、ITU-T SG9に参加したことがあります。その時に国際標準化の仕事は難しいけれど、面白いと思いました。

—— 次研究会期におけるご担当の研究委員会の最重要テーマ・課題はどのような事とお考えでしょうか。

山田 都市のデジタル化 (デジタルトランスフォーメーション) に関する標準化、特に都市サービスのデジタルツイン

やデジタルツイン同士の連携についてのテーマが重要になると考えています。これらに関する提案文書数が増えています。

—— 副議長としての抱負をお聞かせください。どのようなところに力点を置いて活動されるご予定でしょうか。

山田 ITU-T SG20の第1回会合が2022年7月に開催され、ITU-T JCA IoT and SC&CのCo-Convenorへの就任が承認されました。この活動では、ITUや外部機関でのIoTやスマートシティに関する標準化動向を収集し、標準化ロードマップを作製します。この活動を通じて、この分野の標準化動向を把握し、次に何が起こるか予測力を上げていきたいと考えています。

—— 副議長としての難しさや障壁はどのようなものが想定されるでしょうか。また、そうしたことへの対処方法はどうお考えでしょうか。

山田 自社の利益の観点ではなく、公平公正の観点で議論を見ないといけない場面が出てくると思います。発言する際には、どちらの立場での発言か明確にして対応すべきと考えています。

—— ポストコロナのSGの活動はどうなっていくと思われませんか。

また、どのようにしたいとお考えでしょうか。

山田 物理参加とリモート参加のハイブリッドの会議形式が定着し、物理参加の機会が増えてくると思います。今 (2022年7月)、ジュネーブで開催中のITU-T SG20会合に参加しています。会議場でのマスク着用は少数派です。挨拶の際は、グータッチや肘タッチではなく普通に握手をしています。会合期間中に感染してしまった他国の参加者もいるようです。日本とは異なる感染防止対策を導入している国で開催される会合への物理参加の仕方について、国内で情報共有を進めるべきと考えます。

—— 我が国、各加盟国の政府関係やICT産業界からの理解や協力についての期待をお聞かせください。

山田 ITU-T SG20は、スマートシティを担当している各加盟国の政府関係者が参加しており、彼らと直接意見交換できる場となっています。日本のICT産業界の一員として、積

極的に意見交換し各国の都市課題を把握することで、日本のスマートシティソリューションのグローバル展開推進につながることを期待しています。

—— 最後に、個人の信条や、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

山田 写真のとおり、若い頃から東南アジアへの旅行が好きで、異なる言語・文化を持つ人と話をするのが大好きでした。国際標準化の会合でも、そのときの気持ちを忘れずに参加しています。

—— 読者へのメッセージをお願いいたします。

山田 ぜひITU-T SG20にご参加いただき日本のプレゼンスを高め、「スマートシティと言えば日本」と世界から言われるくらい積極的な活動を進めたいと思います。よろしくお願いたします。



■ 東南アジアのラオスとタイが大好きで毎年訪問していました。両国の国境を流れるメコン川で泳ぐと気持ち良いです。

【読者のための豆知識】

SG20の活動内容：IoT並びにスマートシティ及びコミュニティ